

仕上げて鏡の中にお客さまの微笑み



これが楽しい……と「ムツシュ龍馬」

「太陽と水と空気はついてまわる」ということで、日本を離れ、台湾に根をおろして活躍する人たちが多くなった。その動きはまさに「東奔西走」である。日本でもおなじみの「ムツシュ・リュウマ」こと中村龍馬さんもその一人。台北だけで四つの店を持ち、かけまわっている。その龍馬さんにインタビュー。

お名前の「龍馬」というのは、幕末に活躍した坂本龍馬と関係がありますか。

昭和17年11月15日に生まれたのですが、坂本龍馬と誕生日が同じ。そこで龍馬という名前がつけられたのではないかと思います。祖父が侠客で龍吉、父は地主でした。龍一。みんな名前に龍の字がつくんです。名に負けないようにがんばっているのですが……。

はじめから美容の仕事をやろう、という目標があったのですか。

祖母が髪ゆい床をやっていたと聞きますが、そんなことは考えていませんでした。大学で法律を勉強して弁護士になるつもりでした。だけど、どうも風の吹きまわしか東映に入って、大道具をやったり、切られ役をやったりしました。25歳の時「一丁やっただれ」(龍馬さんは滋賀県出身)ということで、ロンドンに行き、二年間、ヴァグネル・サンソンという男の美容師について、カットの勉強をしました。こどもの時、妹の髪を切って丸坊主同然にして、えらくしかれたこともあります。祖母

からの「血」が流れていたんでしょか。

そのあと・どうしましたか
ロンドンの美容サロンでさらに一年間スタイリストとして学び、こんどはフランスに行き、一「シャンプー・ボーイ」を二年やりました。ところで、日本人と中国人の髪はちがうのですか。

日本人のほうがやりにくい。平均的に頭の高さがあるんです。これはおこられるかもしれないけれど、それに毛が固い。同じアジア人でも違います。中国人はおジャレの感覚が鋭い。とくに中年のハイクラスの人たちに多い。

龍馬さんのお店で働いている中国人の美容師さんはどうですか。



台湾で発刊されている雑誌「髪-31号」の「台湾」より

20人近く働いていますが、中国人の美容師のレベルは高いですよ。とても指の動きがいいのです。日本からきた技術者がおどろくほどです。あとはセンスの問題だけ。髪のお美容の基本といえば、フケの治療、抜毛の治療、そしてシャンプーです。お客さまは髪を美しくすることも目的ですが、シャンプーが楽しみできているのです。当り前のことですがお客さまを大切に、道具を大切にすることも基本です。

美容の仕事をして「よかった」と思ったことがありますか。

スラングになったこと、東南アジアをまわったことがあります。戦火のはげしいカン

ボジアにいった時です。私が美容師だと聞いて、ある母親が子供をつれてきました。女の子です。しかし栄養失調で死にかけていたのですが「この子をきれいにしてくれ」と母親がいうんです。「そうかよかったです」と、きれいにしてやりました。その子は翌日、死んだそうです。でも母親が「頭をきれいにしてもらってあの子は幸福だった。ありがとう」というのです。この時、美容師をやっていたよかった、と思いました。そしてスラングから立ち直りました。仕上がって、お客さまが満足そうにほほ笑みます。そしてそれを鏡の中でみている、これが楽しいのです。だから、うちの店で仕事をしている連中には「かっこうよくやろう、うまくやろうと思うな。汗を流してやれ。それがお客さまによるこんでもらい、結果的にはうまいのだ」と毎日いっています。



台北の龍馬さんの美容室

美髪界の巨星 中村龍馬



中村龍馬の活躍の中心地である台北の美容界に、中村龍馬という巨星が現れた。彼は、台湾の美容界に革命を巻き起こした。彼の技術は、台湾の美容界に新しい風を吹き込んだ。彼の成功は、台湾の美容界に大きな影響を与えた。彼の活躍は、台湾の美容界に大きな影響を与えた。彼の活躍は、台湾の美容界に大きな影響を与えた。

中村龍馬の活躍の中心地である台北の美容界に、中村龍馬という巨星が現れた。彼は、台湾の美容界に革命を巻き起こした。彼の技術は、台湾の美容界に新しい風を吹き込んだ。彼の成功は、台湾の美容界に大きな影響を与えた。彼の活躍は、台湾の美容界に大きな影響を与えた。

中村龍馬の活躍の中心地である台北の美容界に、中村龍馬という巨星が現れた。彼は、台湾の美容界に革命を巻き起こした。彼の技術は、台湾の美容界に新しい風を吹き込んだ。彼の成功は、台湾の美容界に大きな影響を与えた。彼の活躍は、台湾の美容界に大きな影響を与えた。

